

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 110	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
<b>要望問題名</b> 神奈川県におけるいちごハイブリットの開発(継続)	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】  かながわブランドであるいちごを他県等で育種されたハイブリットで共販を行っている経過があります。 本県では東名高速や国道1号・246号などの主要幹線道路があり観光や直売においても手軽さを売ることが予測できるため、地場の活性化を含め神奈川独自のハイブリットを開発していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 野菜類の新品種育成	
<b>対応の内容等</b> イチゴの育種では交配に用いる親系統の特性が重要であること、現地では品種育成や特性検定に対する要望が高いことから、当所では平成20年より積極的に他県品種も含めたイチゴの品種特性検定試験を行い、これまでに25品種・系統について品種特性を明らかにしてきました。 引き続き、本県で栽培可能なイチゴの品種特性を明らかにするとともに、試験で得られたデータに基づき、優良品種・系統による交配や実生選抜も進めており、特徴を持ったイチゴ品種の育成に取り組みます。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	